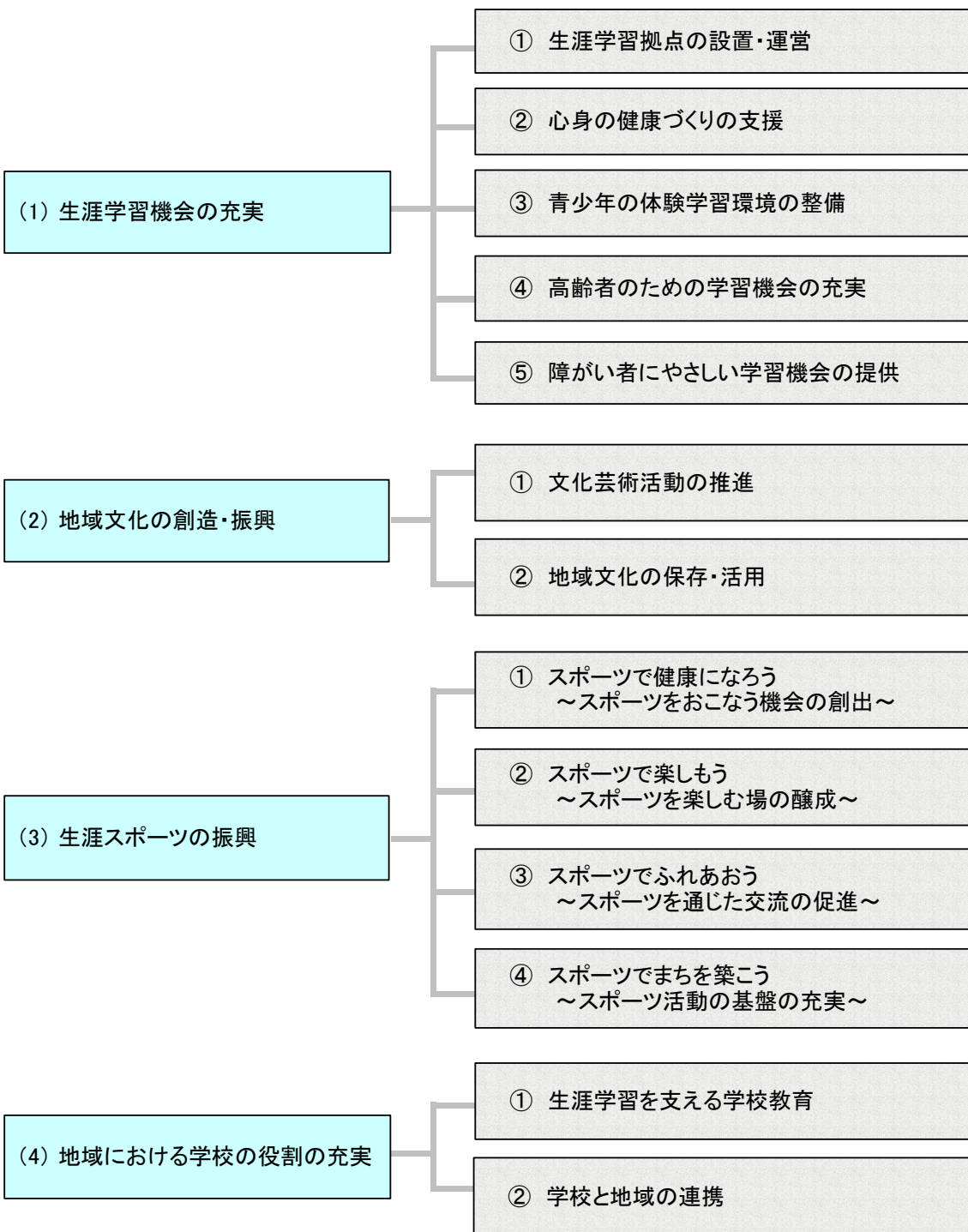


2. いろいろな学習 ～市民が相互に学びあえるまちづくり～

主要施策

事業の展開



## 1. 生涯学習機会の充実

### (1) 現状と課題

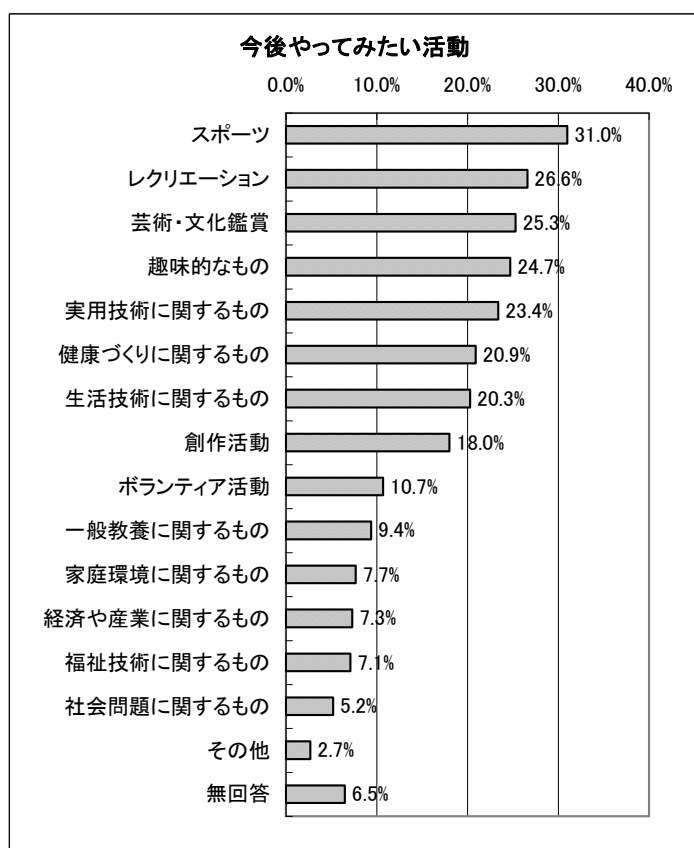
価値観やライフスタイルの多様化が進み、生涯学習を行う人が増えるにつれて、自分の生きがいや自己実現を求めるための学習ニーズも広がりを見せています。

「今後やってみたい活動」として、スポーツ、レクリエーション、芸術・文化鑑賞、趣味などがあげられており、活動をしたいという市民のニーズは、高いといえます。

また、語学やパソコンなど実用技術に関するものや、家庭医学や保健など健康づくりに関するものも多くなっており、余暇時間の活動だけではなく、生活を豊かにするなど目的に応じた学習を求める動きも高まっています。

本市では、市民の多様な学習ニーズに応えるため、講演会や研修等を実施するだけでなく、学習成果の発表の機会を提供したり、生涯学習施設の適切な管理・運営を行い、生涯学習機会の充実を図っています。

今後も、市民のニーズに応じた学習機会の充実に努めるとともに、学習の成果をまちづくりに活かしていくことが重要となります。



※資料は、成田市民の生涯学習・生涯スポーツに関する意識調査報告書より

(2) 事業の展開

① 生涯学習拠点の設置・運営

男女共同参画社会や情報化社会など、現代社会で求められる課題への取り組みや、身近な暮らしに役立つ知識や技術の習得が、気軽に行える学習拠点の設置・運営を行っていきます。

明治大学・成田社会人大学運営事業、生涯大学院運営事業、男女共同参画センター運営事業など



明治大学・成田社会人大学開講式



成田市生涯大学院学園祭

## ② 心身の健康づくりの支援

市民が心身ともに健康な生活を営むために、各種講座や相談会、幼児や妊婦の健診、保健推進委員の研修会などを行い、健康づくりのための各種事業を展開していきます。

健康づくり推進事業、健康福祉フェア事業など

## ③ 青少年の体験学習環境の整備

次世代を担う青少年のゆたかな「こころ」とたくましい「からだ」を育むため、自然とふれあい、創作活動、人々との交流などの体験学習活動の環境整備に努めます。

子ども体験学習セミナー事業、成人式開催事業など



成田市成人式



#### ④ 高齢者のための学習機会の充実

高齢化が進む中、高齢者が社会との関わりをもち、いきいきと学習することが地域の活性化につながります。高齢者に学習機会の場を提供するとともに、社会参加を促進する事業を展開していきます。

シルバー就業対策支援事業、社会参加事業など



成田市生涯大学院

#### ⑤ 障がい者にやさしい学習機会の提供

障がい者の社会参加を促し、生きがいのある生活を送るために、手話通訳者の養成講座や、図書館朗読サービスの実施などの学習支援を行うなど、障がい者にやさしい学習機会を提供していきます。

手話通訳者設置事業、障がい者図書館利用推進事業など

## 2. 地域文化の創造・振興

### (1) 現状と課題

本市には、成田山新勝寺や宗吾霊堂をはじめとして、数多くの歴史的な文化遺産があり、市民によって長年にわたり継承されてきた芸術・文化が残されています。

自分の住むまちの歴史や文化を正しく学び、またそれを後世に伝えていくという市民の意欲は高まっており、このような学習意欲を満たすことは、生涯学習推進の観点からも必要なものだといえます。

現状では、芸術・文化活動団体への支援や、公民館や国際文化会館を中心とした芸術鑑賞機会の提供など、さまざまな文化活動の推進を行っています。

また、貴重な文化財の調査・保護・保存を行うとともに、後世に伝統や文化を継承していくための後継者の育成なども行っています。今後も、地域文化の振興、継承の担い手となる市民を育成し、地域の伝統を学ぶ機会の充実に努めます。

### (2) 事業の展開

#### ① 文化芸術活動の推進

市民が身近な場所で文化芸術活動を鑑賞できるよう、市民の手による青少年劇場や市民文化祭の開催などを通じて、本市を基盤とした文化活動の活性化を図ります。また、文化振興マスタープランを策定し、文化芸術活動を計画的に推進します。

文化振興マスタープラン策定事業、市民文化祭開催事業など



感動劇場

## ② 地域文化の保存・活用

文化遺産の保存・活用を図り、地域の歴史や文化を正しく理解することは、生涯学習の視点からも大切なことで、新しい文化創造の基礎づくりにつながると考えます。

市内で発掘された考古資料や地域に継承されてきた民俗文化財等を、調査、研究、収集、保管、展示などを通して、市民の学習資源として活用を図るとともに、次の世代に確実に伝えていくための保存、整備に努めます。

文化財普及・活用事業、史跡めぐり・歴史講演会等開催事業など



史跡めぐり



下総歴史民俗資料館

### 3. 生涯スポーツの振興

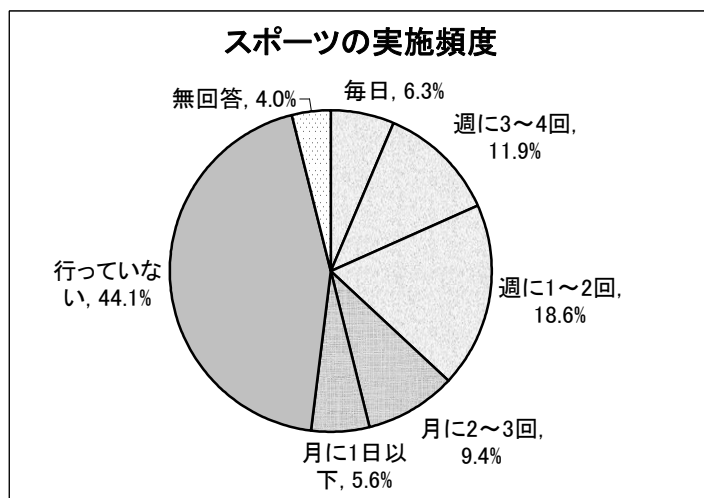
#### (1) 現状と課題

スポーツの実践は、健康で活力に満ちた生活を送る上でも重要な役割を果たします。また、スポーツは、市民同士や地域団体間の交流を促進させるとともに、市民がいきいきと暮らしていくことのできるまちづくりを進める上でも大切なものです。

本市では、平成16年11月に「スポーツ健康都市」を宣言し、スポーツ施設や組織などの活動基盤の充実など、ソフト・ハードの両面から、地域に根ざしたスポーツ活動を促進しています。

しかしながら、「スポーツの実施頻度」では、「週1回以上スポーツを行っている」市民の割合は36.8%となっており、文部科学省の推計する全国平均や、現行の生涯スポーツマスタープランの目標値を達成していない状況となっています。

今後もスポーツに対する市民のさまざまなニーズに応えるとともに、スポーツ施設や情報提供の充実、指導者の育成など、市民がスポーツに親しみやすい環境づくりを推進していきます。



※資料は、成田市民の生涯学習・生涯スポーツに関する意識調査報告書より



## (2) 事業の展開

### ① スポーツで健康になろう ～スポーツをおこなう機会の創出～

市民の大半が、スポーツを通じて健康・体力づくりを進めたいと思っていることから、健康・体力に関する正しい知識を学び、日々の暮らしの中で日常的に健康づくり活動に取り組めるようにすることが重要になっています。本市では、このような市民のニーズに応え、各種健康教室や市民に対する健康診断などを行い、健康づくりを推進する環境を整えています。

また、幼少期や学校での体育活動を充実させることで、児童・生徒の体力の向上を図るとともに、子どもの頃からスポーツに親しみ、生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる環境をつくることを目指しています。

さらに、誰もが取り組みやすい種目の研究・普及と効率的な事業運営に努めながら、スポーツを通じた健康の維持、増進が図られる環境を整え、市民の健康づくりを進めていきます。

健康づくり運動「健康ちば21」推進事業、小中学校体育活動事業など

### ② スポーツで楽しもう ～スポーツを楽しむ場の醸成～

スポーツを行い、スポーツを楽しむことは、人生をより豊かにし、充実したものにします。そのために、本市では市民が自発的にスポーツに取り組むことができるようにするため、さまざまなスポーツ大会・教室を各種団体と連携・協力しながら開催しており、スポーツを楽しむ場の醸成に努めています。

また、スポーツには、自分が行うだけでなく、競技を観戦する楽しみ方もあります。観戦機会や各種イベントに関する情報発信の拡充を図り、多くの人々にスポーツを楽しむ機会を提供していきます。

さらに、本市の地理的特性などを活用し、自然とふれあう事業に積極的に取り組みます。

全国高等学校総合体育大会誘致・開催事業、（仮称）畑ヶ田多目的スポーツ広場整備事業、スポーツ広場等整備事業、運動公園整備事業、サイクリング・ウォーキング・ジョギングコース整備事業など

### ③ スポーツでふれあおう ～スポーツを通じた交流の促進～

本市では、スポーツイベントを通じて、市民同士の交流が進められています。これまでの活動をさらに促進し、子どもから高齢者までが一体となり、交流し、スポーツ施設を利用することによって生まれるコミュニケーションなどを通じて、市民同士の交流に努めます。

さらに、本市においては、友好・姉妹都市とのスポーツを通じた国際交流も積極的にを行っています。

これらのスポーツ活動を通じて、市民同士や地域間交流の促進を図ることにより、お互いにふれあいの感じられるコミュニティの形成に努めます。

総合型地域スポーツクラブ事業、国際交流事業など

### ④ スポーツでまちを築こう ～スポーツ活動の基盤の充実～

本市では、市民が気軽にスポーツに取り組むことのできるスポーツ広場や、本格的に活動できる運動公園、さらには、体育館などの各種スポーツ施設の整備を進めています。

また、その施設を有効に活用するためのソフト面の強化として、指導者の養成や、スポーツ表彰を伴った競技能力向上の支援も、引き続き図っていきます。

ソフト・ハードの両面から、スポーツ活動の基盤の充実を図り、スポーツによる市民の連帯意識の醸成から、「スポーツ健康都市」にふさわしい「まち」づくりを目指します。

新清掃工場関連付帯施設整備事業（温水プール整備事業）、  
スポーツボランティア登録・派遣事業など



綱引き大会

#### 4. 地域における学校の役割の充実

##### (1) 現状と課題

子どもたちの健全な育成を図るうえで、学校・家庭・地域の連携協力の必要性が一層強調されており、そのような背景のもとに学校教育を充実するため、ゆたかな知識や経験を備えた人材を活用した学習のあり方も試みられています。

本市では、学校と地域との交流機会の充実を図るため、特色ある学校づくりや高等学校開放講座など、地域と学校が連携したさまざまな事業が行われています。

今後は、生涯学習事業の拠点としての学校の役割をさらに充実させ、ゆたかな自然、ゆたかな歴史など身近で親しみのある地域特性を活かしながら、より地域に開かれた学校運営を推進していくことが、必要となります。

また、学校と地域の新たな関係を構築するため、学校を地域社会の構成員と位置づけ、「学校が地域社会に」、「地域社会が、学校あるいは児童・生徒たちに」何ができるのかを、実践の中で考えていく試みが重要となります。

##### (2) 事業の展開

###### ① 生涯学習を支える学校教育

時代の進展と社会の変化に対応した学校教育を推進し、子どもたちの豊かな心を育み、自らが進んで学習する意欲を高めていく学校教育を推進します。

また、学校が持っている教育力を地域に還元することや、地域の活動を学校が取り入れていくなど、地域に開かれた学校運営を目指します。

特色ある学校づくり事業、高等学校等開放講座の開催など



高等学校開放講座による英会話講座

② 学校と地域の連携

子どもたちの健全な成長を図るため、学校・家庭・地域が一体となって連携し、地域の人材を有効に活用します。

子どもの居場所づくり推進事業、放課後子ども教室推進事業  
家庭教育学級開催事業



放課後子ども教室